

(1) 指標の設定について (追加分)

計画策定時に現状値等が未把握の5指標について (計画書P41～P42)

指標	現状値	目標値
6 「人と比較して食べる速度が速い人の割合」	R6年3月把握	R6年度設定
1 1 「地域等で共食している人の割合」	R6年3月把握	R6年度設定
1 8 「栄養教諭等と連携して食に関する指導を実施している小・中学校の数 (割合)」	R6年3月把握	増加
2 6 「学校給食で郷土料理や伝統料理を月に1回以上提供する市町村の数」	R6年3月把握	増加
3 5 「災害時の非常用食料等を備蓄している人の割合」	R7年度把握	R7年度設定



6 人と比較して食べる速度が速い人の割合

基本方針1 健康寿命の延伸にむけた食育

(1) 施策1 生活習慣病の発症と重症化予防

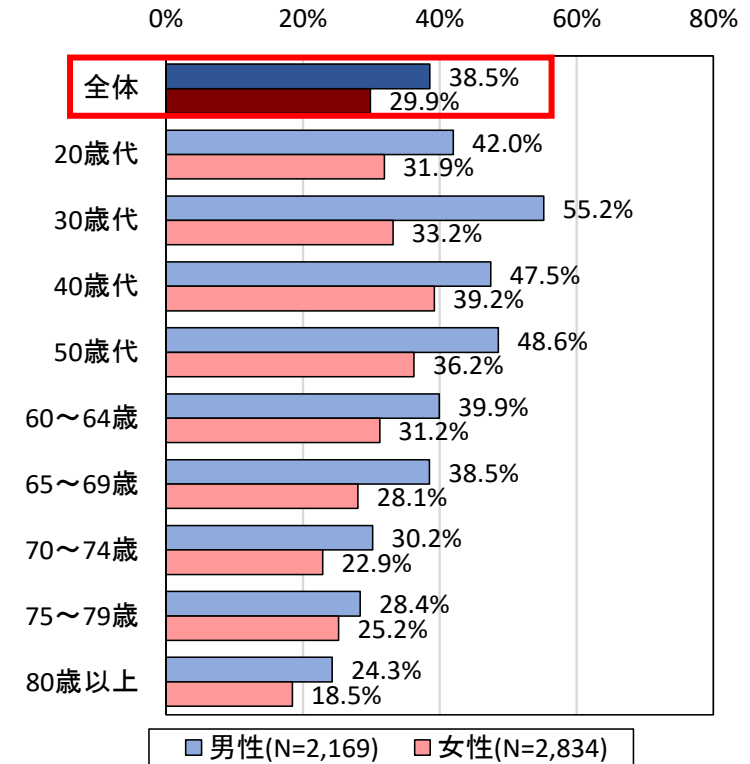
①健康的な食生活の普及推進

◆評価指標

評価指標	現状値	目標値 (R11)	把握方法	目標値の考え方
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	45.8% (R4)	50%	なら健康長寿基礎調査	健康日本21(第三次)の目標値と同値
1日あたりの食塩摂取量 (20歳以上)	男性 10.6g 女性 9.2g (H28)	男女とも 7g	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	健康日本21(第三次)の目標値と同値
1日あたりの野菜摂取量 (20歳以上)	男性 279g 女性 263g (H28)	男女とも 350g	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	健康日本21(第三次)の目標値と同値
1日あたりの果物摂取量が100g未満の人の割合 (20歳以上)	男性 53.4% 女性 47.2% (R3)	男女とも 30%	県民健康・食生活実態調査	第4次食育推進基本計画の目標値と同値
適正体重(BMI18.5以上25未満(65歳以上はBMI20を超え25未満))の人の割合 (20歳以上男女)	60.4% (R4)	65.6%	なら健康長寿基礎調査	肥満、やせ、低体重の目標を達成した場合の値(R4年調査の人口構成で算出)
人と比較して食べる速度が速い人の割合	R6年3月把握	R6年度設定	なら健康長寿基礎調査	(参考) NDB オープンデータ* 33.4% (R2)

* レセプト情報・特定健診等情報データベースから汎用性の高い基礎的な情報の集計表を作成し、公表されたもの

人と比較して食べる速度が速い人の割合(R5)



指標設定案：人と比較して食べる速度が速い人の割合
性別・世代別（働き盛り世代：20～64歳）
考え方：全体の性別現状値（R5）を目標とする

現状値 男性：46.8% (R5) 目標値 38.5% (R11)
女性：35.3% (R5) 29.9% (R11)

《第4期奈良県食育推進計画》
●人と比較して食べる速度が速い人の割合
全体：33.7%



1 1 地域等で共食している人の割合

基本方針1 健康寿命の延伸にむけた食育

(2) 高齢者の健康づくり

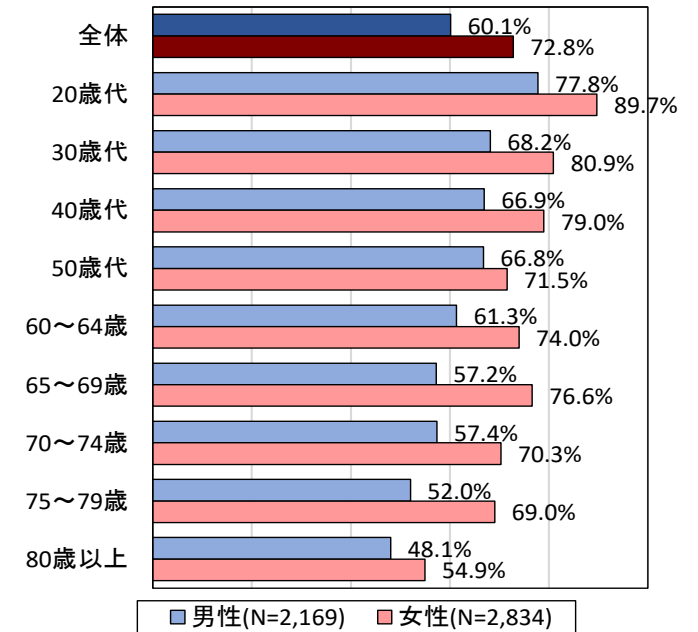
③フレイル・低栄養予防の推進

◆評価指標

評価指標	現状値	目標値 (R11)	把握方法	目標値の考え方
地域等で共食している人の割合※	R6年 3月把握	R6年度 設定	なら健康長寿基礎 調査	(参考)健康日本2 1(第三次)の目標 値30%(R14)
フレイルについて、「言葉も意味もよく知っている」、「言葉も知っているし、意味も大体知っている」人の割合	18.7% (R3)	30%	県民健康・食生活 実態調査	類似調査 江戸川区調査 30.3%(R3)
低栄養傾向の高齢者 (65歳以上 BMI 20以下)の割合	21.2% (R4)	16.8%	なら健康長寿基礎 調査	全国値より高いこ とから健康日本2 1(第二次)の最終 評価の値(R1)を 目指す (参考)健康日本2 1(第三次)の目標 値13.0%(R14)

地域等で共食している人の割合

0% 20% 40% 60% 80% 100%



現状値

《なら健康長寿基本計画 (第2期)》

●地域等で共食している人の割合
全体：67.3%

目標値について、令和5年国民健康・栄養調査の結果が公表され次第設定

※なら健康長寿基礎調査の問4「あなたは、お住まいの地域（職場・学校を除く）において誰かと一緒に食事をすることはどのくらいありますか。

「1. 週1回程度」「2. 月1回程度」「3. 3か月に1回程度」「4. 6か月に1回程度」「5. 年に1回程度」「6. ほとんどない」のうち、
(ア) 地域の人 (イ) 友人・知人 のいずれかで「1. 週1回程度」～「5. 年に1回程度」を選んだ人の割合



1 8 栄養教諭等と連携して食に関する指導を実施している小・中学校の数（割合）

基本方針2 次世代の健全な食習慣形成のための食育

(4) 健やかな発育、基本的な生活習慣の形成

⑧小・中学校における食育の推進

◆評価指標

評価指標	現状値	目標値 (R11)	把握方法	目標値の考え方
栄養教諭等と連携して食に関する指導を実施している小・中学校の数(割合)	R6年3月把握	増加	健康・安全教育課調べ※	—
朝食を毎日食べないと回答する児童・生徒の割合(小学5年生・中学2年生)	小5男子 1.5% 小5女子 1.1% 中2男子 3.0% 中2女子 2.4% (R4)	減少	健康・安全教育課 スポーツ庁「全国体力・運動能力調査・運動習慣等調査」	第3期奈良県食育推進計画の目標を継続

現状値

R5年度
 小学校 : 97%
 中学校 : 81%
 特別支援学校 : 100%

2 6 学校給食で郷土料理や伝統料理を月に1回以上提供する市町村の数

基本方針3 奈良の食の魅力向上のための食育

(6) 奈良の食の理解と実践

⑪地産地消の推進

◆評価指標

評価指標	現状値	目標値 (R11)	把握方法	目標値の考え方
学校給食で郷土料理や伝統料理を月に1回以上提供する市町村の数	R6年3月把握	増加	健康・安全教育課調べ※	—

現状値

R6年3月
20/39市町村

※現 体育健康課

